

平成 28 年度 担い手との意見交換実施状況

滋賀県農林漁業担い手育成基金

No	月日	場所	会議等名（出席者数）	内容、担い手からの主な意見	対応方針	参集者
1	04/11	米原市	法人との個別意見交換	・今後の農地集積計画と人・農地プランの見直しについて	・地域での人・農地プランの話し合いに積極的に参画しプランの見直しを働きかける。	法人代表者、機構
2	04/14	米原市	法人との個別意見交換	・今後のブロック集積化に向けた計画づくりについて	・担い手間の利用権交換によるブロック化等に向けた話し合いを行う。	法人代表者、機構
3	04/27	東近江市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会（220名）	・年度により機構集積協力金に大きな格差が生じている。制度が毎年変わるのには理解できない。	・国の制度変更を受け、県が関係機関の意見を聞いて配分基準を定めたものであることを理解願う。	農業組合長、担い手農家、県、市、機構
4	05/20	野洲市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会（53名）	・米価下落の影響を受ける担い手農家の負担を考慮し、賃料変動制を取り入れるべき。	・各地の担い手等の意見、他府県の先行事例による成果や課題を把握したうえで、次年度以降の課題として検討。	農業組合長、担い手農家、県、市、機構
5	05/26	長浜市	法人との個別意見交換	・円滑化事業契約期間終了後の機構集積の取組について	・機構への貸付可能農地を洗い出し、JAと連携して集積を進める。	法人代表者、JA(TAC)、機構
6	05/27	日野町	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会（56名）	・配分された農地が軟弱で機械作業に支障があった。また、利用困難と思われる農地の借受けを打診された。事前確認を徹底してほしい。	・可能な限り農地情報の把握に努める。遊休農地解消の観点から、利用にやや難がある農地についても、借受見込み者の要望や条件を聞きながらできる限りマッチングを図る。	農業組合長、担い手農家、県、市、機構
7	06/03	長浜市	法人との個別意見交換	・隣接集落の農地の機構を通じた集積について	・機構を活用した将来構想について、隣接集落（人・農地プラン未作成）、市、JAを含めた話し合いを行う。	法人代表者、機構
8	06/06	甲賀市	法人との個別意見交換	・担い手の立場から農地所有者に機構事業の活用を働きかけてきたが、協力金など制度が毎年のように変わるのには困る。 ・受付期間を限定すべきでない。随時受付を可能にすれば機構に預ける農家も増える。	・国の制度変更を受け、県が関係機関の意見を聞いて配分基準を定めたものであることを理解願う。 ・複数回受付を検討する。	大規模農業法人経営者、機構

No	月日	場所	会議等名（出席者数）	内容、担い手からの主な意見	対応方針	参集者
9	06/06 06/13	長浜市	法人との個別意見交換	・農用地利用配分計画において、既耕作者と人・農地プランの中心経営体ではどちらが優先されるのか。	・機構の貸付けルールのなかで、既耕作者の経営に支障を及ぼさないよう配分する。	法人代表者、機構
10	06/10	長浜市	法人との個別意見交換	・借受農地の経営継承と今後の取組について	・経営継承手続きについて説明するとともに、地域での人・農地プランの取組への積極的な参加を働きかける。	法人代表者2名、機構
11	06/16	長浜市	法人との個別意見交換	・今後の農地集積の進め方等について	・地域における農業の将来像の話し合いと人・農地プランの見直しを働きかける。	法人代表者、機構
12	06/20	長浜市	担い手農家との個別意見交換	・農用地利用配分計画における、既耕作者と人・農地プランの中心経営体との優先度について	・機構の貸付けルールのなかで、既耕作者の経営に支障を及ぼさないよう配分する。	担い手農家、機構
13	06/22	高島市	担い手農家との個別意見交換	・担い手間の利用権交換による農地集約化を進めるにはどうすればよいのか。 ・担い手が事故等により営農継続が困難となった場合どう対応するのか。	・経営耕地の分散確保解消の観点から、担い手間のコミュニケーションを図りつつ、機構を活用した担い手間の利用権交換が進むよう支援する。	担い手農家、機構
14	06/24	長浜市	法人との個別意見交換	・担い手農家との話し合いの場が必要	・湖北地域の若手担い手グループとの話し合い機械の提供等について協力する。	法人代表者、機構
15	06/24	高島市	担い手農家との個別意見交換	・リタイア農家が出るのを契機に、機構により集落の農地を集積・集約化したい。	・6月27日に市・機構が連携し人・農地プランと機構事業の詳細について説明会を開催する。	担い手農家、機構
16	06/27	高島市	担い手農家への機構事業説明および協議(9名)	・リタイア農家が出るのを契機に、機構により集落の農地を集積・集約化したい。	・機構集積協力金の要件、人・農地プラン、重点実施区域の見直し等について理解を深め、次年度に向けて取り組む。	担い手農家4名、市、JA、機構
17	07/12 10/18 11/25	高島市	集落役員との意見交換(10名)	・後継者不足の状況下で、農業施設や農地の整備、担い手育成や集積をいかに進めればよいか	・人・農地プラン、機構事業、農地耕作条件改善事業の理解促進を図るとともに、農地利用状況地図の作成等から着手し、機構活用につなげていく。	集落役員5名、県、市、機構
18	07/13	甲賀市	法人との個別意見交換	・賃料変更(台帳面積から水張面積)についての集落全体の同意とりつけが難しい。	・合意形成の進め方や留意事項について助言した。	法人代表者、機構

No	月日	場所	会議等名（出席者数）	内容、担い手からの主な意見	対応方針	参集者
19	07/13	高島市	法人化準備役員との意見交換会(14名)	・法人化準備をするなかで、機構事業および関連事業について知りたい	・法人化準備とともに人・農地プラン作成を進め、農地利用のあり方を明確化するよう助言。 ・法人化事業計画作成にあたり集積・集約の必要性等の理解を深めるようフォローする。	法人化準備役員 10名、農地所有者、市、機構
20	07/14	大津市	滋賀県農業法人協会役員会での意見交換(10名)	・担い手への配分が1回のみだが随時対応できないか。受付期間も5~6月では秋以降にリタイアする人に対応できない。 ・機構利用の少ない地域では、出し手への周知徹底と掘起しに向けた行動が必要 ・機構制度を利用して賃借料支払いや契約事務が大幅に軽減され助かっている。	・秋に2回目の受付を実施する。 ・県の地域農業活性化推進チームや市町単位に開催している連携会議で関係機関と連携し、周知徹底と掘起しを行う。	農業法人協会役員、機構
21	07/19	甲賀市	担い手農家との個別意見交換	・利用権設定期間満了に伴い機構事業を活用したい。	・次回受付時に活用できるよう、機構事業の説明および助言を行った。	担い手農家、機構
22	07/21	長浜市	法人との意見交換	・円滑化事業の契約満了に伴い、今後機構事業を活用したいので協力してほしい。 ・機構の仕組みを組合員に周知したい。	・人・農地プランの見直しに機構も積極的に加わる。 ・集落説明会にも積極的に協力する。	法人代表者、役員、JA(TAC)、機構
23	07/22	高島市	担い手農家との意見交換	・次年度に向け、人・農地プランを見直し、集積・集約化を進めたい。	・入作者にも協力を求め集約化を進めるよう助言。	担い手農家3名、機構
24	07/22	高島市	担い手個別訪問による意見交換	・集積・集約化を進めたいが集落の合意形成が難しい。	・行政と連携して人・農地プランの話し合いの機会を設け、集積・集約化を推進する。	担い手農家、機構
25	07/25	高島市	担い手個別訪問による意見交換	・集落の人・農地プランの見直しできていない。	・行政と連携して人・農地プランの話し合いの機会を設け、集積・集約化を推進する。	担い手農家、機構
26	07/25	高島市	担い手個別訪問による意見交換	・複数集落で作成した人・農地プランの見直しできていない。	・行政と連携して人・農地プランの話し合いの機会を設け、集積・集約化を推進する。	担い手農家、機構
27	07/25	高島市	担い手個別訪問による意見交換	・集積・集約化を進めたいが集落の合意形成が難しい。	・行政と連携して人・農地プランの話し合いの機会を設け、集積・集約化を推進する。	担い手農家、機構

No	月日	場所	会議等名（出席者数）	内容、担い手からの主な意見	対応方針	参集者
28	07/26	高島市	担い手個別訪問による意見交換	・ 利用権設定を受けて地域の農地を預かりたいがそれを望まない農家が多い。	・ 行政と連携して人・農地プランの話し合いの機会を設け、集積・集約化を推進する。	担い手農家、機構
29	07/26	高島市	担い手個別訪問による意見交換	・ 担い手同士で農地をまとめたいたがなかなかまとまらない。	・ 行政と連携して人・農地プランの話し合いの機会を設け、集積・集約化を推進する。	担い手農家、機構
30	07/26	高島市	担い手個別訪問による意見交換	・ 集約化に向けての担い手同士の話し合いがなかなかまとまらない。 ・ 袋地の農地があり、何とかしたい。	・ 行政と連携して人・農地プランの話し合いの機会を設け、集積・集約化を推進する。	担い手農家、機構
31	07/27	高島市	担い手農家との個別意見交換	・ 集積・集約化を進めたいが集落の合意形成が難しい。	・ 行政と連携して人・農地プランの話し合いの機会を設け、集積・集約化を推進する。	担い手農家、機構
32	08/09	高島市	担い手との個別意見交換	・ 子への経営移譲を前提に、機構を通した利用権設定を行いたい。	・ 既存の利用権を合意解約し、すべてを機構に預ける方向で進める	市、農業委員会、JA、機構
33	08/22	高島市	担い手（農業組合長）との個別意見交換	・ 人・農地プランを見直し機構集積を進めることを検討している。	・ 農地利用の方向を地図化し、協力金の要件を確認する等、まずは市との相談を助言。 ・ 要請があれば機構も説明に向かう	担い手農家、機構
34	09/27	高島市	法人化準備役員との意見交換	・ 平成 29 年 1 月に法人化することになった。機構事業への取り組み方法について協力してほしい。	・ 次年度早期の応募に向け、行政、JA とともに具体的な集積・集約の方向性を検討することとする。	担い手農家、機構
35	09/29	高島市	担い手個別訪問による意見交換	・ 複数集落の広域人・農地プランの見直しと、集積・集約の取組について、多面的機能支払の役員も含め検討している。	・ 関係機関と連携し、具体的なスケジュールを立てて取組を進める。	担い手農家、機構
36	10/17	高島市	集落役員との意見交換	・ 人・農地プラン作成の説明および意見交換	・ 機構事業を活用した農地集積の取組の推進を関係者と連携して支援する。	集落役員 6 名、県、市、JA、機構
37	10/20	高島市	集落役員との意見交換	・ 人・農地プラン作成の説明および意見交換	・ 機構事業を活用した農地集積の取組の推進を関係者と連携して支援する。	集落役員 4 名、県、市、JA、機構

No	月日	場所	会議等名（出席者数）	内容、担い手からの主な意見	対応方針	参集者
38	11/01	大津市	稲作経営者会議、農業法人協会構成員との意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・機構を通さず相対で利用権設定する農家が多く、規模拡大や集約化が思うように進まず、担い手へのメリットが感じられない。 ・農地の貸借に関する国の制度が複数併存する中で使い勝手の良い円滑化事業のニーズが一定あること、今一つは、複数回受付に改善されたとはいえ受付期間が限定されていることに原因があるのではないか。随時受付できないのか。 ・機構が配分すると「貸しはがし」が起きるのではないかとの懸念を持つ人もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化により経営効率改善や、補助金の優先配分等、担い手へのメリットが高まる取組になるよう農業者への普及啓発に努める。また、人・農地プランの話し合い等を通じ、意欲的な担い手が地域の中心経営体に位置づけられ、集積・集約化が進むよう、行政機関等と連携した取組を推進する。 ・直ちに随時受付に対応できる体制にはないが、課題として検討する。 ・貸付ルールのもとで、既に安定的な経営をしている担い手に支障が出ないように配分する。 	担い手農家・法人経営者7名、機構
39	12/15	多賀町	町内担い手農家情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・集落で転作や防除の調整に支障をきたさないよう、貸付先の情報を末端まで流してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プランなどの話し合いの中で、中心経営体同士で情報共有を進めていただきたい。 ・町からも、随時情報提供を図っていただく。 	担い手(認定農業者、集落営農法人、特団等)17名 農政局滋賀支局、県、町、機構
40	12/19	竜王町	竜王町稲作経営者研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・農地を集約化し連担化を進めたいが、機構は集落営農法人の構成員の農地を集落営農法人に優先配分するので、思い通り進められない。 ・賃料水準は農地条件に大きく左右される。機構は全筆を点数化し、農地条件に見合う筆ごとの賃料水準を評価して契約すべき。 ・人・農地プランが町一本で作成されているが、非農家も含めた話し合いを徹底し、適切な範囲に分割して見直しを進めるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農の構成員の農地の集落営農への配分の優先度と、隣接担い手への優先度は同等であり、両者を含めた話し合いの結果を反映した人・農地プランがあれば機構はそれを尊重して配分するので、プランの見直しを進めていただきたい。 ・賃料水準には農地条件以外にも水利費負担の地域慣行など多くの要素があり、全筆の適正単価を定めるのは困難。マッチングの際、受け手・出し手双方の希望内容を聞き個別に調整する。 	個人の稲作経営者約10名 県、町、JA、機構

No	月日	場所	会議等名（出席者数）	内容、担い手からの主な意見	対応方針	参集者
41	01/26	高島市	担い手（農事組合法人役員）との個別意見交換	・集落の6割の農地を集積しているが、用排水路の改修が必要になってきている。	・農地耕作条件改善事業の活用により施設整備に取り組めるよう、重点実施区域の指定に向け集落での集積・集約化の取り組みを助言	担い手農家、機構